

エシカル消費についてのアンケート結果

「エシカル消費(※1)(倫理的消費)」は、公正で持続可能な社会の実現に近づく消費者一人ひとりの消費選択行動であり、「消費者市民社会(※2)」の実現にもつながるものです。また、エシカル消費を推進することは、県が参画する「SDGs(※3)」の目標のひとつ「つくる責任、つかう責任」等の達成にもつながります。

そこで、エシカル消費についての県民の皆さんの認知度や取組意向を把握することを目的としてアンケート調査を実施しました。

※1 エシカル消費とは

「エシカル(ethical)」とは「倫理的・道徳的」という意味。「エシカル消費」とは、人や社会、環境に配慮したものやサービスを選択する消費行動のこと。

※2 消費者市民社会とは

消費者自らが、自身の消費行動が現在および将来の世代にわたって社会経済情勢や地球環境に影響を及ぼし得ることを自覚して行動する社会。また、消費者自身が、公正で持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会のこと。つまり、私たちひとり一人が、社会や環境がよくなるように考えながら消費する(お金を使う)ことで、主体的に環境問題や社会問題を解決しようとする社会のこと。

※3 SDGs

(Sustainable:持続可能な Development:開発 Goal:目標、目的 s)

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための17の世界共通の目標」。17の目標には、貧困、健康・福祉、教育、エネルギー、産業や環境問題などがあり、経済と環境、社会的課題を統合的に解決していくため、国・県に加え、企業も個人も取り組む世界共通の目標。

★調査時期 :平成31年2月

★対象者 :県政モニター 395人

★回答数 :314人(回収率 79.5%)

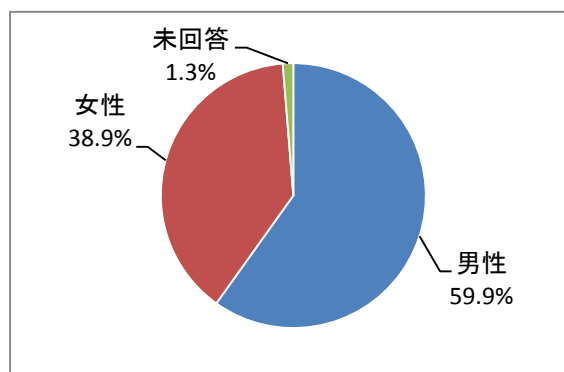
★担当課 :県民生活部 県民活動生活課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

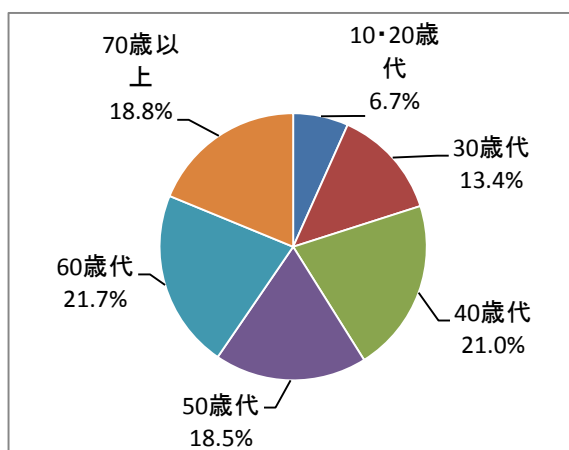
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	188	59.9
女性	122	38.9
未回答	4	1.3
合計	314	100.0



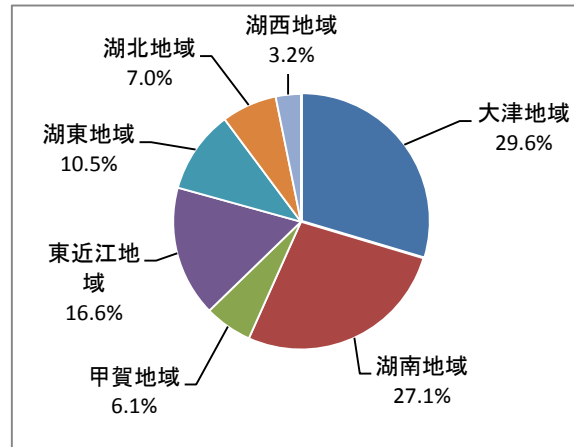
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	21	6.7
30歳代	42	13.4
40歳代	66	21.0
50歳代	58	18.5
60歳代	68	21.7
70歳以上	59	18.8
合計	314	100.0



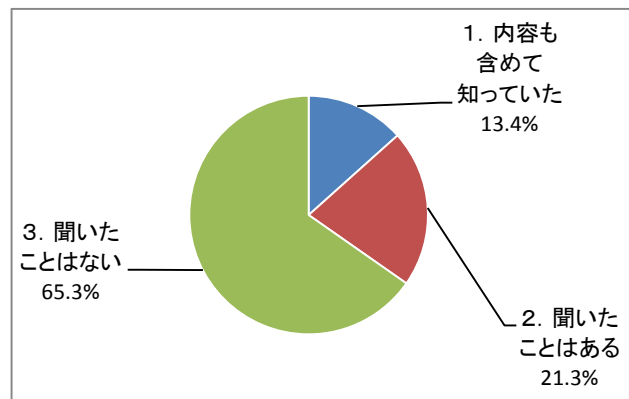
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	93	29.6
湖南地域	85	27.1
甲賀地域	19	6.1
東近江地域	52	16.6
湖東地域	33	10.5
湖北地域	22	7.0
湖西地域	10	3.2
合計	314	100.0



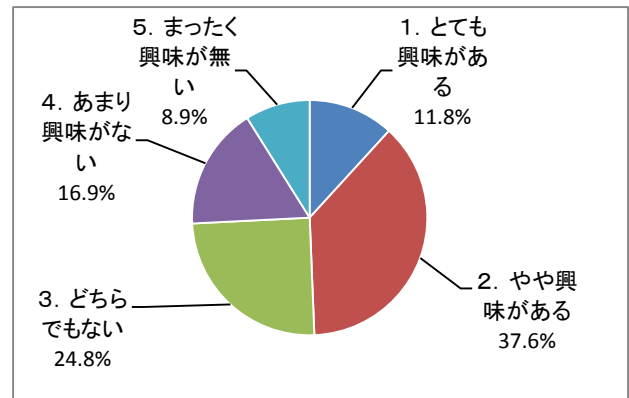
問1 あなたは、「エシカル消費」または「倫理的消費」という言葉を知っていましたか。
(回答チェックは1つだけ n=314)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 内容も含めて知っていた	42	13.4
2. 聞いたことはある	67	21.3
3. 聞いたことはない	205	65.3
合計	314	100.0



問2 あなたはエシカル消費に興味がありますか。
(回答チェックは1つだけ n=314)

項目	人数(人)	割合(%)
1. とても興味がある	37	11.8
2. やや興味がある	118	37.6
3. どちらでもない	78	24.8
4. あまり興味がない	53	16.9
5. まったく興味が無い	28	8.9
合計	314	100.0

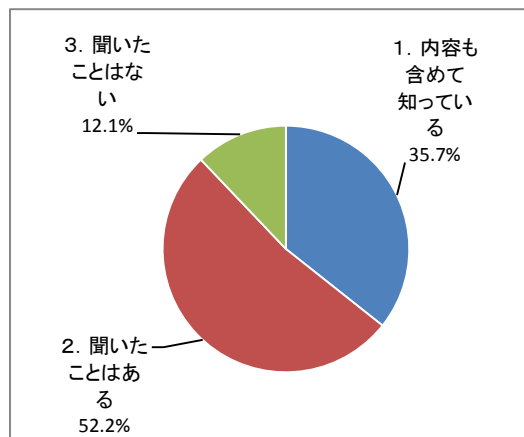


問3 エシカル消費に関する言葉には、例えば次のようなものがありますが、それぞれの言葉を聞いたことがありますか。(回答チェックは各項目ごとに1つ n=314)

＜グリーン購入(“環境”に配慮した消費)＞

※製品やサービスを購入する際に、環境への負荷ができるだけ少ないもの(エコ商品やリサイクル商品等、環境に配慮した製品)を選んで購入すること。

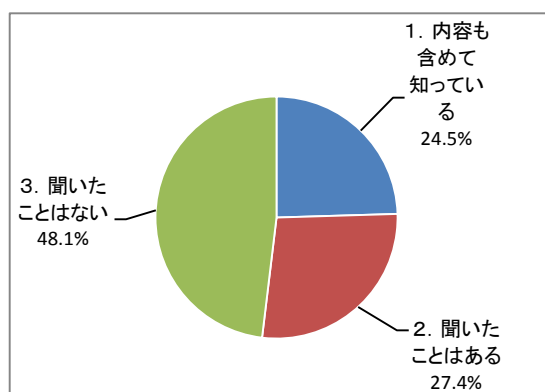
項目	人数(人)	割合(%)
1. 内容も含めて知っている	112	35.7
2. 聞いたことはある	164	52.2
3. 聞いたことはない	38	12.1
合計	314	100.0



＜フェアトレード(“人・社会”に配慮した消費)＞

※開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立をめざす貿易の仕組み。「児童労働の撤廃」や「子どもの権利の保護」にもつながる。(チョコレートやコーヒーが良く知られていますが、衣類やサッカーボールなどもあります)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 内容も含めて知っている	77	24.5
2. 聞いたことはある	86	27.4
3. 聞いたことはない	151	48.1
合計	314	100.0

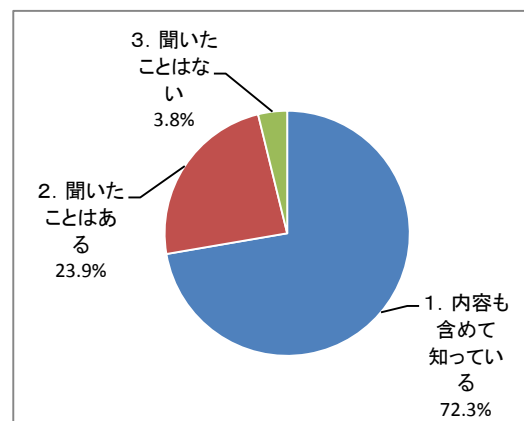


＜地産地消(“地域”に配慮した消費)＞

※地域で生産されたもの(主に農産物や水産物)をその地域で消費すること。(例:滋賀県における「おいしがうれしが」キャンペーン)

消費者は新鮮な食材が手に入り、地元の作り手の収入につながる。また輸送に伴うCO2の排出削減になるため環境への負荷が少なくなる。

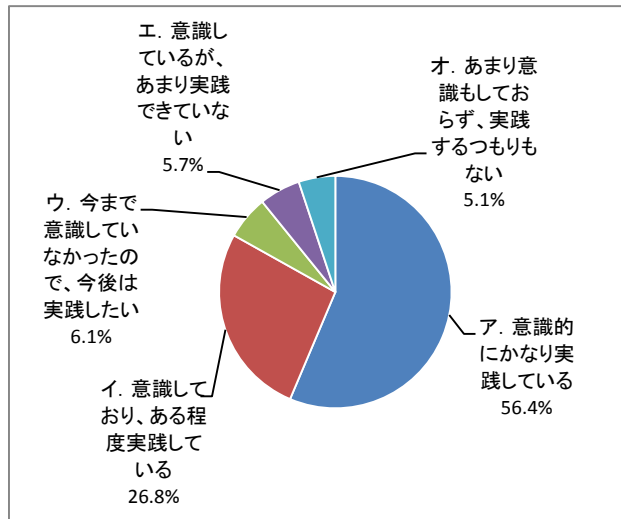
項目	人数(人)	割合(%)
1. 内容も含めて知っている	227	72.3
2. 聞いたことはある	75	23.9
3. 聞いたことはない	12	3.8
合計	314	100.0



問4 エシカル消費・倫理的消費に関する行動について、あなたの考えと購入経験・購入習慣等についてそれぞれ回答してください。(回答は、各項目ごとに1つだけ n=314)

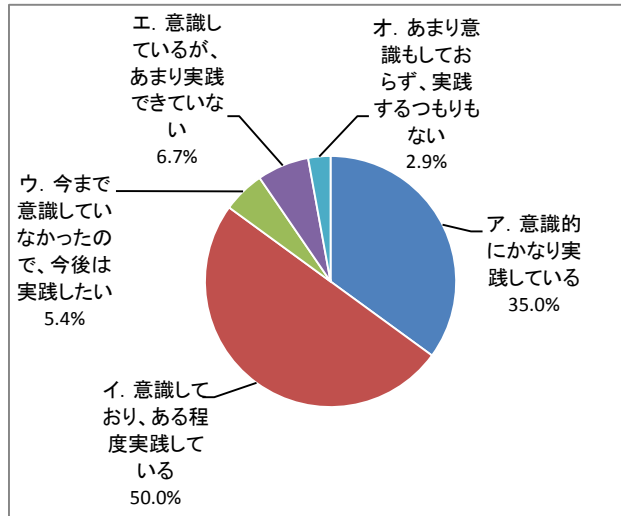
1. マイバッグを持参してレジ袋を断っている

項目	人数(人)	割合(%)
ア. 意識的にかなり実践している	177	56.4
イ. 意識しており、ある程度実践している	84	26.8
ウ. 今まで意識していなかったのですが、今後は実践したい	19	6.1
エ. 意識しているが、あまり実践できていない	18	5.7
オ. あまり意識もしておらず、実践するつもりもない	16	5.1
合計	314	100.0



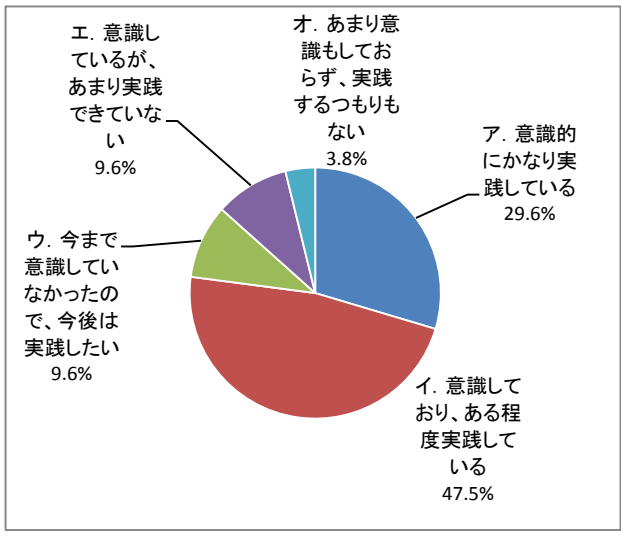
2. 必要なものを、必要な量だけ購入する(余分な物を買わない)

項目	人数(人)	割合(%)
ア. 意識的にかなり実践している	110	35.0
イ. 意識しており、ある程度実践している	157	50.0
ウ. 今まで意識していなかったのですが、今後は実践したい	17	5.4
エ. 意識しているが、あまり実践できていない	21	6.7
オ. あまり意識もしておらず、実践するつもりもない	9	2.9
合計	314	100.0



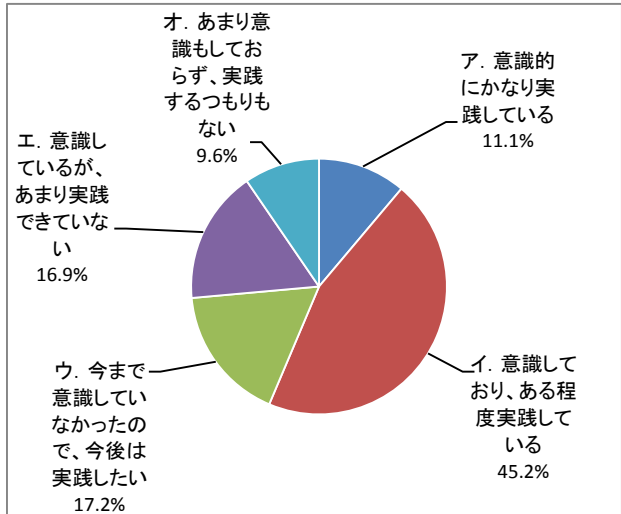
3. 使い捨てのものより、長く使えるものを購入する

項目	人数(人)	割合(%)
ア. 意識的にかなり実践している	93	29.6
イ. 意識しており、ある程度実践している	149	47.5
ウ. 今まで意識していなかったのですが、今後は実践したい	30	9.6
エ. 意識しているが、あまり実践できていない	30	9.6
オ. あまり意識もしておらず、実践するつもりもない	12	3.8
合計	314	100.0



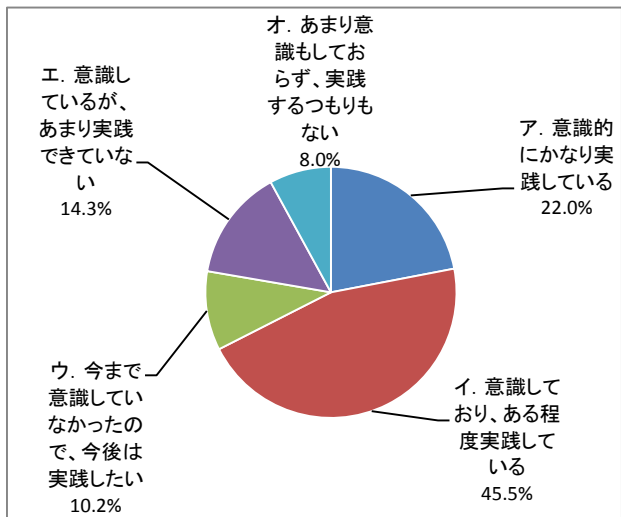
4. 環境に配慮した製品(エコマークが付いた商品等)を選ぶ

項目	人数(人)	割合(%)
ア. 意識的にかなり実践している	35	11.1
イ. 意識しており、ある程度実践している	142	45.2
ウ. 今まで意識していなかったのですが、今後は実践したい	54	17.2
エ. 意識しているが、あまり実践できていない	53	16.9
オ. あまり意識もしておらず、実践するつもりもない	30	9.6
合計	314	100.0



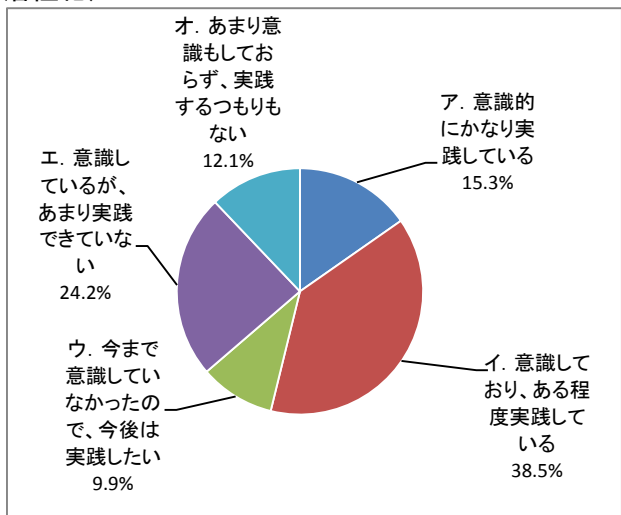
5. 地産地消を心掛ける

項目	人数(人)	割合(%)
ア. 意識的にかなり実践している	69	22.0
イ. 意識しており、ある程度実践している	143	45.5
ウ. 今まで意識していなかったのですが、今後は実践したい	32	10.2
エ. 意識しているが、あまり実践できていない	45	14.3
オ. あまり意識もしておらず、実践するつもりもない	25	8.0
合計	314	100.0



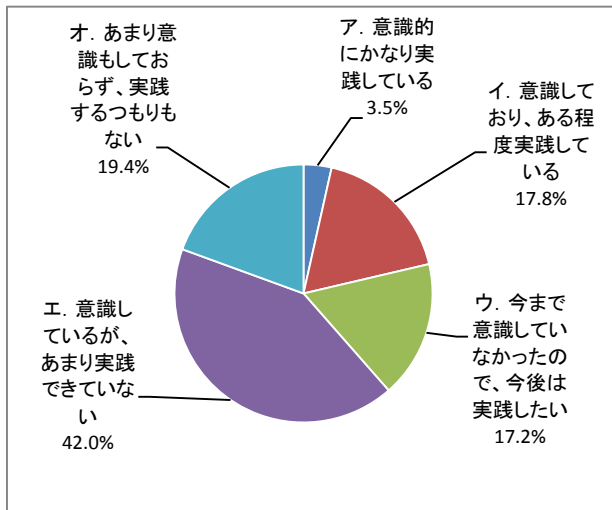
6. 地元のお店や商店街で買うようにしている(地域の活性化)

項目	人数(人)	割合(%)
ア. 意識的にかなり実践している	48	15.3
イ. 意識しており、ある程度実践している	121	38.5
ウ. 今まで意識していなかったのですが、今後は実践したい	31	9.9
エ. 意識しているが、あまり実践できていない	76	24.2
オ. あまり意識もしておらず、実践するつもりもない	38	12.1
合計	314	100.0



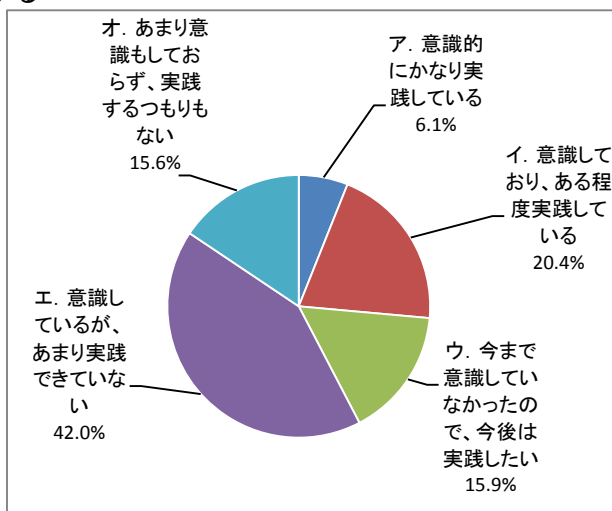
7. 地元の伝統工芸品等を購入する(伝統技術の継承)

項目	人数(人)	割合(%)
ア. 意識的にかなり実践している	11	3.5
イ. 意識しており、ある程度実践している	56	17.8
ウ. 今まで意識していなかったのですが、今後は実践したい	54	17.2
エ. 意識しているが、あまり実践できていない	132	42.0
オ. あまり意識もしておらず、実践するつもりもない	61	19.4
合計	314	100.0



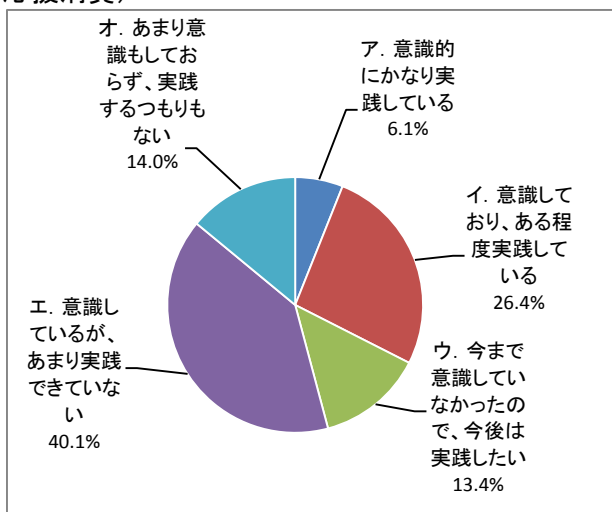
8. 福祉作業所(授産施設)等で作られた製品を購入する

項目	人数(人)	割合(%)
ア. 意識的にかなり実践している	19	6.1
イ. 意識しており、ある程度実践している	64	20.4
ウ. 今まで意識していなかったのですが、今後は実践したい	50	15.9
エ. 意識しているが、あまり実践できていない	132	42.0
オ. あまり意識もしておらず、実践するつもりもない	49	15.6
合計	314	100.0



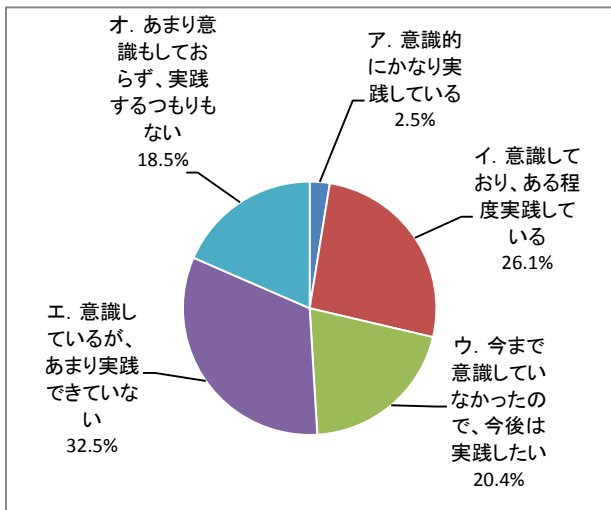
9. 被災地の特産品を購入したり旅行に行ったりする(応援消費)

項目	人数(人)	割合(%)
ア. 意識的にかなり実践している	19	6.1
イ. 意識しており、ある程度実践している	83	26.4
ウ. 今まで意識していなかったのですが、今後は実践したい	42	13.4
エ. 意識しているが、あまり実践できていない	126	40.1
オ. あまり意識もしておらず、実践するつもりもない	44	14.0
合計	314	100.0



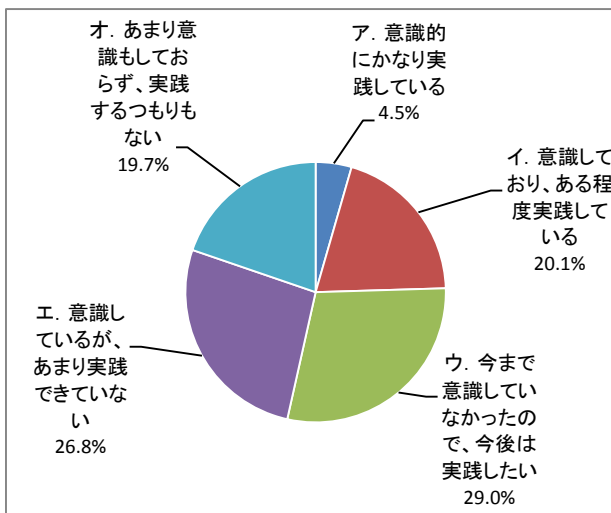
10. 寄付付き商品(商品の売上げの一部が環境保護や社会貢献活動等の寄付に充てられる商品)を購入する

項目	人数(人)	割合(%)
ア. 意識的にかなり実践している	8	2.5
イ. 意識しており、ある程度実践している	82	26.1
ウ. 今まで意識していなかったのですが、今後は実践したい	64	20.4
エ. 意識しているが、あまり実践できていない	102	32.5
オ. あまり意識もしておらず、実践するつもりもない	58	18.5
合計	314	100.0



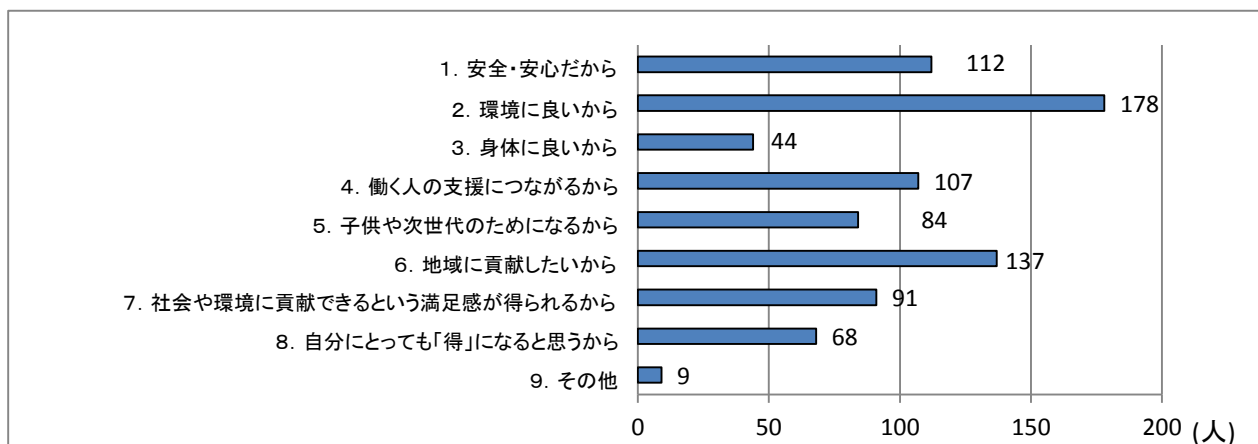
11. フェアトレード製品を購入する

項目	人数(人)	割合(%)
ア. 意識的にかなり実践している	14	4.5
イ. 意識しており、ある程度実践している	63	20.1
ウ. 今まで意識していなかったのですが、今後は実践したい	91	29.0
エ. 意識しているが、あまり実践できていない	84	26.8
オ. あまり意識もしておらず、実践するつもりもない	62	19.7
合計	314	100.0



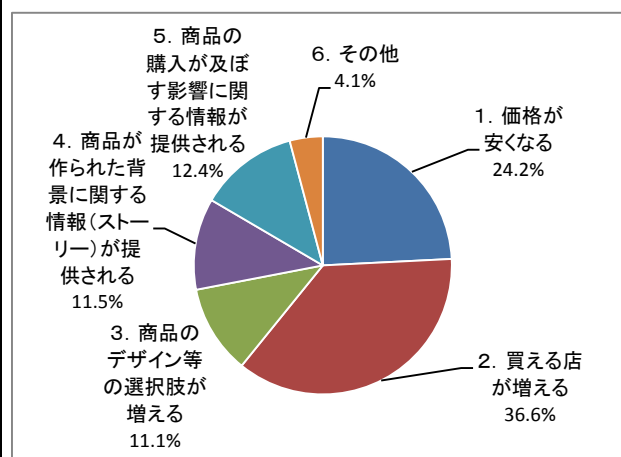
問5 ※問4でひとつでも「ア」または「イ」と答えた方におたずねします。
 それはどのような気持ち・理由からだと思えますか。
 (回答チェックはいくつでも n=303)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 安全・安心だから	112	37.0
2. 環境に良いから	178	58.7
3. 身体に良いから	44	14.5
4. 働く人の支援につながるから	107	35.3
5. 子供や次世代のためになるから	84	27.7
6. 地域に貢献したいから	137	45.2
7. 社会や環境に貢献できるという満足感が得られるから	91	30.0
8. 自分にとっても「得」になると思うから	68	22.4
9. その他	9	3.0



問6 フェアトレード製品や福祉作業所(授産施設)等で作られた製品、寄付付き商品について、どのようになれば(もっと)買おうと思えますか。最もあてはまるものを選択してください。
 (回答チェックは1つだけ n=314)

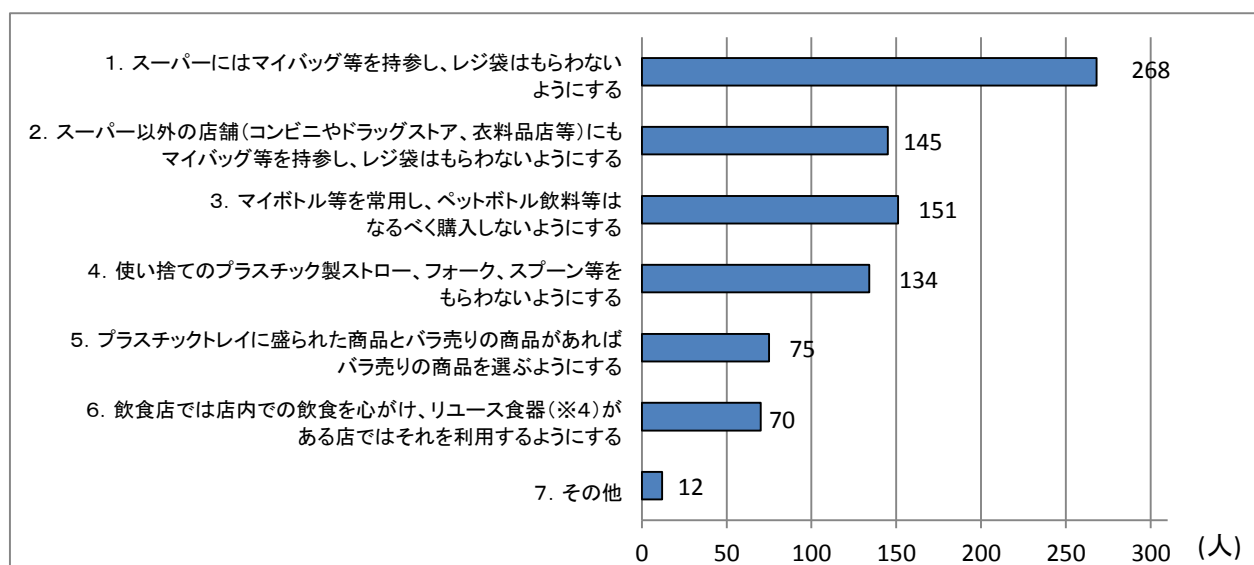
項目	人数(人)	割合(%)
1. 価格が安くなる	76	24.2
2. 買える店が増える	115	36.6
3. 商品のデザイン等の選択肢が増える	35	11.1
4. 商品が作られた背景に関する情報(ストーリー)が提供される	36	11.5
5. 商品の購入が及ぼす影響に関する情報が提供される	39	12.4
6. その他	13	4.1
合計	314	100.0



問7 現在、マイクロプラスチックによる海洋汚染が世界的な問題となっています。プラスチックごみ削減のための取組について、どのような内容であれば行おうと思いますか。次の中から選択してください。(既に取り組んでいる場合も含む)(回答チェックはいくつでも n=314)

項目	人数(人)	割合(%)
1. スーパーにはマイバッグ等を持参し、レジ袋はもらわないようにする	268	85.4
2. スーパー以外の店舗(コンビニやドラッグストア、衣料品店等)にもマイバッグ等を持参し、レジ袋はもらわないようにする	145	46.2
3. マイボトル等を常用し、ペットボトル飲料等はなるべく購入しないようにする	151	48.1
4. 使い捨てのプラスチック製ストロー、フォーク、スプーン等をもらわないようにする	134	42.7
5. プラスチックトレイに盛られた商品とバラ売りの商品があればバラ売りの商品を選ぶようにする	75	23.9
6. 飲食店では店内での飲食を心がけ、リユース食器(※4)がある店ではそれを利用するようにする	70	22.3
7. その他	12	3.8

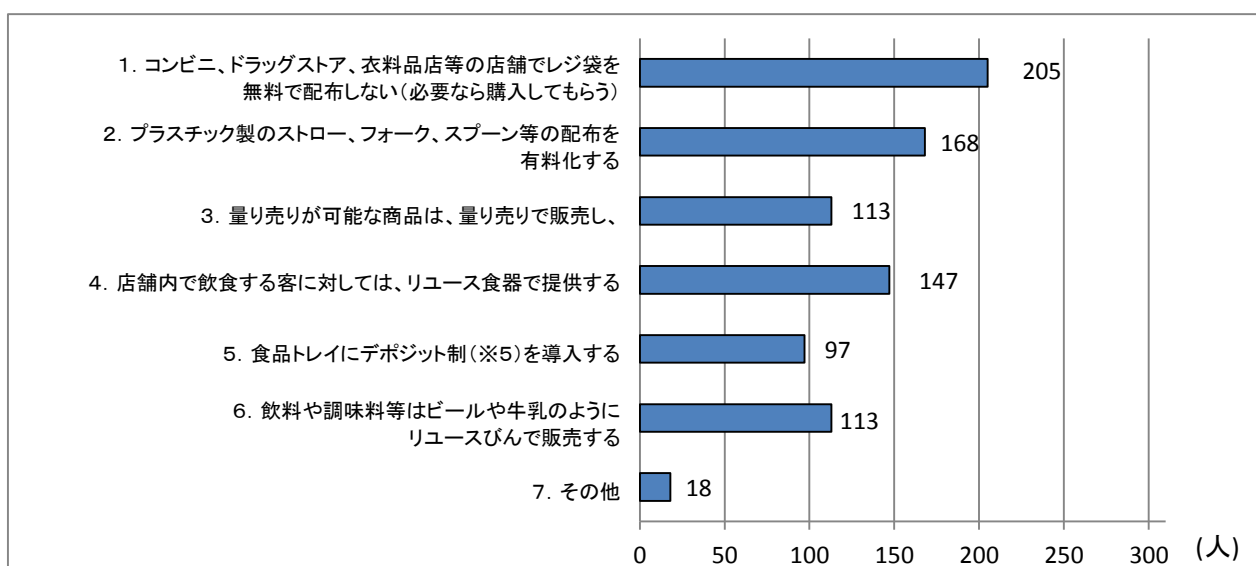
※4 リユース食器:使い捨てではなく、洗って繰り返し使える食器



問8 プラスチックごみ削減のために、食料品等を提供する事業者はどのような取組を進めていくべきだと思いますか。(回答チェックはいくつでも n=314)

項目	人数(人)	割合(%)
1. コンビニ、ドラッグストア、衣料品店等の店舗でレジ袋を無料で配布しない(必要なら購入してもらう)	205	65.3
2. プラスチック製のストロー、フォーク、スプーン等の配布を有料化する	168	53.5
3. 量り売りが可能な商品は、量り売りで販売し、客に持ち帰り容器を持参してもらう	113	36.0
4. 店舗内で飲食する客に対しては、リユース食器で提供する	147	46.8
5. 食品トレイにデポジット制(※5)を導入する	97	30.9
6. 飲料や調味料等はビールや牛乳のようにリユースびんで販売する	113	36.0
7. その他	18	5.7

※5 デポジット制:販売時に容器の代金を預かり、容器の返却時にそれを返却する仕組み



問9 その他、エシカル消費について御意見がありましたらお聞かせください。(任意)(一部抜粋)

- ・意味することには高い関心があり、ユニセフにも長年募金しているが、エシカル消費は知らないでいる。エシカル消費という用語自体が一般に浸透していないと思う(意味はかなり浸透している)。もっと国民、県民に理解させる工夫が必要。
- ・消費者のコスト負担を和らげる工夫がないとなかなか取り組まないとします。
- ・意識はするが価格差が大きいと選ばない。
- ・必要とは思いますが、消費者には価格や味、機能が優れていることが重要。生産者はそこも意識していただき、努力していただきたいです。
- ・フェアトレードの商品は味ではなく「フェアトレード商品だから」買うという傾向が高いのではないかと思います。将来的に「おいしいから」「この味が好きだから」という理由で選んでもらえるようになるとフェアトレードが継続しやすいのかなと思います。
- ・エシカル消費という言葉は知りませんでしたが、内容にはとても興味があります。地球のために出来ることから貢献していきたいです。
- ・一般的になじんでいない表現であり、もっとメジャー化するべきだと思います。県民にもっとPRすることを積極的に進めてほしい。
- ・エシカルという言葉を知らなかったですが、このアンケートに答えている中で、自分自身の日常的な活動に既になっているものもあり、知らないうちにその活動に参加をしているように思いました。表現を工夫されたら、さらに多くの人の生活に浸透していくのではないのでしょうか。
- ・手間がかかるが根気よく習慣化できるように、消費者・販売者・生産者・流通業者が一体化した活動が必要。
- ・プラスチックごみの削減は、びわ湖の水質改善に大きくかかわることであり、びわ湖を守る滋賀県民は、一般家庭ごみの削減と同様にもっと努めていかなければならない。
- ・袋が有料化されてからは、マイバックを持参する方が増えました。しかし、ドラッグストアやコンビニなどは店員が自然に袋に入れるのでマイバックを持参しても間に合わないことがあります。完全に有料化にしてしまうとすっきりしますね。
- ・将来の地球、日本、琵琶湖の為にも消費の視点を変えることで誰にでもできる事が良い。消費者が意識することで社会が変わって行けば良いと思います。
- ・どこの食料品店(外食も)でもコンビニでも、賞味期限、消費期限がある以上売れ残り品を処分とされていますが、捨てる事の勿体なさをこの頃特に思う。勿体ない、捨てない、持ち帰る、この消費方法がエシカルになるのでは?とも思います。
- ・生協でエシカル表示のある化粧品を購入した。チラシにどういう点がエシカルなのか説明記載があり、作っている人の写真もあって購入した。販売時になるべくコストをかけないで内容の紹介があれば、購入する人も増えると思う。ただ、価格も押さえないと、収入も増えない中、増税予定なのできびしいかも。
- ・消費者ができることは限られているので、上手に啓発しつつ、制度を作って円滑に問題解決を図った方が良いかと思います。特定の事情がある場合を除き、有料ビニール袋を100円にするとかしないと、レジ袋は減らないでしょう。お店の宣伝としてビニール袋を採用しているお店には別途課税するとか、方法はいくらかでもあると思います。ストローに関しては、ストローがないと飲めない人もいますし、一律廃止や有料化は難しいかと思えます。
- ・子どもとエシカル消費について語り合う良いきっかけとなりました。